生命（いのち）の安全教育　動画を使用した活授業展開例

高校「大切な心と体を守るために」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 〇留意点・＊支援 |
| 導入 | １．授業の狙いや全体像を知る |  |
| 展開 | ２．よりよい人間関係について理解する。 | ＊よりよい人間関係とはどのようなものか、生徒に考えさせる。  ＊動画により距離感の種類を例示し、人との距離感とはどのようなことを意味するのか理解させる。  ＊距離感が守られていないときはどのようにすればよいかを生徒に考えさせる。  ＊自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。  【ワーク例】  ・自他の安全を守るための『よい「心」と「体」の距離感』とはどのようなものか、ワークシートなどを用い具体的に考えさせる。また、尊厳や人権が阻害される「距離感」とはどのようなことか、具体的な事例を考えさせる。  【ワーク例】  ・「よい人間関係とは？」「心の距離感」「体の距離感」について、動画視聴後、生徒にそれぞれの意見を発表させる。ワークシート、タブレットなど用いるのもよい。 |
| ３．性暴力の実態を知る | ＊動画を通して、性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力を例示しその内容を理解させる。  〇電車通学の生徒が多い等、各校の実態に応じて痴漢被害について言及してもよい。  【ワーク例】  ・各校の実態に応じ、車内などにおける痴漢、路上などで起こりうる性暴力の危険が身近にあることを示し、こういった被害に遭わないためにどうすればよいか、考えさせる。 |
| ４．性暴力被害に関するデータから被害の実態を知る。 | 〇自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。  【ワーク例】  ・動画内でデータが示された段階で動画を一時停止し、このデータから明らかとなることは何か、生徒に考えさせる。結果をタブレット等を用い発表させるのもよい。 |
| ５．性暴力事例（デートＤＶ）について理解する。 | ＊デートＤＶの背景にある思い込みなどについて動画を通して具体的に理解させる。  【ワーク例】  ・動画の性暴力（デートＤＶ）の例から、どんなことがデートＤＶになるのか生徒に考えさせる。  【ワーク例】  ・「いやだ」「やめて」「いかない」「だめだ」といったことを言葉でしっかりと伝えることが大事であることを伝え、事例を挙げて、実際に「いやだ」というようなロールプレイングを実施する。  【ワーク例】  ・相手から「いやだ」といった意思表示があった場合はどうしたらよいか、動画視聴前または視聴後、生徒自身に考えさせる。 |
| ６．ＳＮＳを通じた性暴力の実態を知る。 | 〇ＳＮＳやインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、あとで消すことが難しくなることを伝える。  【ワーク例】  ・動画を事例とし、このようなＳＮＳを通じた性暴力の被害者にならないためにはどうすればよいか考えさせ、発表させる。 |
| ７．性暴力（セクシャルハラスメント）とは、性的な発言や行為によって相手を不快な気持ちにさせたり相手を傷つける行為であることを知る。 | 〇性暴力に性別は関係ないことを伝える。  〇被害に遭うと心身に様々な傷を負うこと、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。  〇生徒の状況を踏まえた上で、必要に応じて、性暴力により妊娠したり性感染症にかかったりする場合もあることを伝える。 |
| ８．性暴力はなぜ起こるのかを知る。 | ＊動画を視聴し、非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを理解させる。  【ワーク例】  ・動画の視聴後、対等でない関係から起こる性暴力の被害に遭いそうになったときどうすればよいか、ロールプレイング等で実践させる。  例：アルバイト先の上司から、ＳＮＳのアカウントなどをしつこく聞かれた時  例：アルバイトの後、一緒に出掛けようと無理に誘われた時  例：交際相手から下着の写真を送るよう言われた時 |
| ９．性暴力が起きないようにするためにどうすればよいか知る。 | ＊動画を視聴し、自分と相手を大切にすること、暴力を許さないことを、理解させる。  ＊加害者、被害者、傍観者にならないためにどうすればよいのか、動画を基に考えさせる。  〇よりよい人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。 |
|  | 10．ＳＮＳを通じた性犯罪の被害に遭わないためにどうすればよいか知る。 | ＊動画の事例から、どうすれば被害を防ぐことができるか考えさせる。 |
|  | 11．性暴力の被害にあったらどうすればよいか知る。 | ＊性暴力の被害に遭った時、友達が性暴力の被害に遭ったときにどうすればよいか動画を視聴し、理解させる。  【ワーク例】  ・動画視聴後、ロールプレイング等で、「いやだ」という実践をさせる。またその場から逃げ、距離をとることなども実践させる。  【ワーク例】  ・動画視聴後、友だちが性暴力の被害にあったときにどうしたらよいか、どのような言葉をかけたらよいか、実践させる。  例：電車の中で友達が痴漢にあっているのを見た場合等  【ワーク例】  ・動画視聴後、友だちが性暴力の加害行為を行っていると気づいときは、どうしたらよいか考えさせる。  ＊被害に遭った時に助けてくれるところを確認させる。 |
|  | 12．二次被害について知る。 | 〇動画を視聴し、二次被害について正しい知識を伝える。 |